

3. 執筆者の紹介

執筆者紹介(五十音順)

飯田 香緒里 氏 国立大学法人東京医科歯科大学知的財産本部
特任助教

1998年3月中央大学法学部法律学科卒業。同年4月中央大学司法研究室研究員。2002年4月～2005年3月法律事務所勤務。2005年5月国立大学法人東京医科歯科大学知的財産本部技術補佐員。2008年6月国立大学法人東京医科歯科大学知的財産本部特任助教。

菅原 桂 氏 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
研究開発部 軟骨クラスター プロダクトマネージャー

1985年 北海道大学農学部卒業。1987年 北海道大学大学院農学研究科修士課程修了(農芸化学)。同年4月 協和発酵工業株式会社入社(医薬研究所)。1988年9月～1989年3月 東北大学医学部第三内科研究生。1992年協和発酵工業株式会社東京研究所。在職中は糖尿病、骨粗鬆症などの代謝性疾患治療薬の探索研究に従事。1997年9月退社。1997年4月より岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所形態形成研究部門。同年10月より総合研究大学院大学生命科学科分子生物機構論博士後期課程。2001年3月 博士(理学)。同年4月 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング入社、2001年4月～2002年3月 島根医科大学医学部整形外科。2002年4月より同社マネージャー、2008年4月より現職。

田中 秀穂 氏 芝浦工業大学 工学マネジメント研究科 教授
京都大学 医学研究科 知的財産経営分野 客員教授

1983年 東京都立大学理学研究科修士課程生物学専攻 修了、同年 三菱化成工業(現三菱化学)総合研究所。1986～88年 Harvard Medical School, Department of Physiology(癌遺伝子に関する研究)。1993年 博士(学術)(大阪大学)。バイオテクノロジーと薬理(糖尿病など代謝疾患)に関する研究、中長期研究戦略策定、外部連携企画などの業務に従事したのち、2003年 三菱化学社 退職。同年 京都大学大学院医学研究科 知的財産経営コース 准教授。2008年 芝浦工業大学工学マネジメント 教授、京都大学医学研究科 客員教授。知的財産経営コースの講義では、「大学の特許の排他性と大学にとっての知的財産経営について」を担当。研究テーマは、「バイオ・創薬・医療領域の技術経営学、知的財産経営学」「技術移転、产学連携の諸問題」等。

長井 省三 氏 日本製薬工業協会 知的財産部長、弁理士

1968年 北海道大学 薬学部薬学科卒業。同年山之内製薬入社。以来37年にわたり一貫して医薬品の特許業務に従事。特許情報を活用した研究・特許戦略の立案・推進に参画し、特に新薬の研究開発に関連する特許業務を担当。その間、国内外での医薬品・バイオ等の特許出願、権利化、特許係争(交渉、裁判)、ライセンス交渉を多数経験。82年に弁理士登録。2004年11月 山之内製薬 特許部部長を定年退職。04年12月から05年3月まで山之内製薬特許部顧問を務めた後、05年4月から日本製薬工業協会

知的財産部長に就任。

日本弁理士会 知的財産政策推進本部委員のほか、科学技術振興機構(JST)知的財産委員会委員、医薬基盤研究所 実用化研究評価委員会 専門委員、基礎研究評価委員会 専門委員、東京医科歯科大学 客員教授、久留米大学 客員教授、東京大学 新領域創成科学研究科 客員連携研究員なども務める。

【関連ホームページ】

日本製薬工業協会 <http://www.jpma.or.jp/>

樋 口 修 司 氏 京都大学医学部附属病院医療開発管理部長 特任教授

1963年3月 京都大学薬学部卒業。同年4月 武田薬品工業(株)入社、中央研究所・医薬開発本部、国際事業本部で約40年間勤務。この間、独・伊・仏・英国等欧州に26年間駐在、ドイツ支社長、欧州研究開発センター社長(フランクフルト・ロンドン)を歴任。武田薬品創製の新薬の欧州・米国・日本の三極同時開発・同時販売活動に従事。

1998年 本社コーポレートオフィサー。2002年 武田薬品を退職。2002年(財)先端医療振興財団、参与・事業推進総括。文部科学省知的クラスター創成事業(神戸バイオ分野)、事業総括。2004年4月 京都大学で現職。文部科学省 産学官連携コーディネーター